



まつかわ まさあき

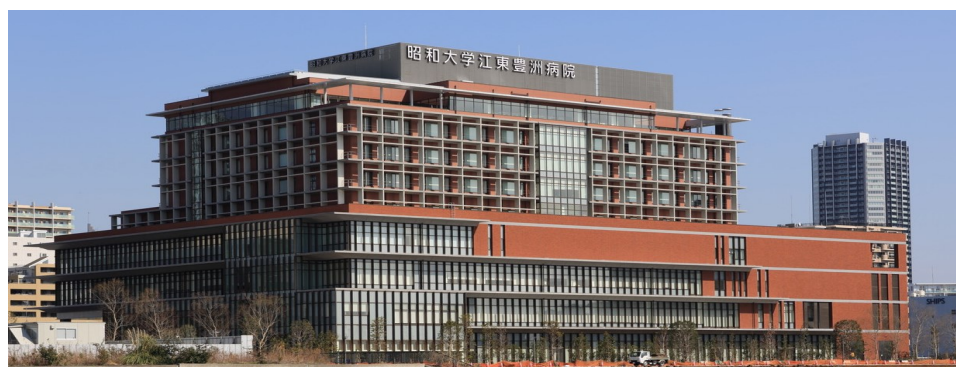
◆退任のご挨拶 消化器センター 松川 正明

今年の夏は8月中頃までは猛暑で、旧盆を過ぎから急に涼しくなり、日照時間もかなり少なくなり、体調を崩された方が多いようです。

平成4年4月に昭和大学附属豊洲病院に助教授として赴任以来23年半が経ちました。赴任した時は東雲イオンモールもなく、三菱製鋼の製鉄所が閉鎖になることができました。豊洲では豊洲病院が最も高い建物でした。約6年間にわたり豊洲病院長を務めたなかで最も記憶に残るのは東日本大震災でした。地震の中9階の内視鏡室で大腸検査を行っていました。建物のゆれが強かったので、入院患者さんを移動するように警察官より指示を受け、移動出来る方はクリニックに移動してもらい、移動できない方は転院ということになり、移動手段を確保することが大変でした。当時の事務長山田哲哉さんと苦労しました。豊洲病院のときは教職員、事務職員、看護師と一緒に病院旅行、豊洲病院のさよなら会を開いたことが思い出されます。



平成26年3月に江東豊洲病院が開院して、新病院に移り、電子カルテで苦労したことが思い出されます。旧病院に比べてすべてにおいて最新の医療機器が備わっていて、江東地域の中核病院としてますます発展することを期待しています。



第18号のトピックス

- 退任挨拶
—消化器センター 松川教授—
- 認定看護師紹介①
—感染管理認定看護師—
- 院内コンサート報告

認定看護師紹介①

認定看護師は1995年に日本看護協会において発足した資格制度で、認定審査に合格し、特定の看護分野で熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができる者であり、「実践」「指導」「相談」を中心として活動を行います。

2015年7月現在、21の認定看護分野があり、当院には11分野、15名の認定看護師が在職しております。

は き い けい こ

感染管理認定看護師 波木井 恵子

私は感染管理認定看護師として、昨年度の江東豊洲病院開院時より、感染管理室で業務を行っております。専従の感染管理者として組織の中心となり、医療関連感染の予防・管理ができるシステムの構築と実践を目指しております。そのために、職員への教育や感染状況の集計や分析、評価、職員の保健管理などを日々行っております。



しかし、これらの活動は一人でできることではなく、感染管理室やICT感染対策チーム、感染リンクナース、もう一名の感染管理認定看護師などの多職種と協働しながら行っております。

病院における感染管理の目標は、「患者さんの安全を確保する」「医療従事者、来訪者、その他病院にかかわるすべての人の安全を確保する」ことにあります。そのために、まず病院は感染を起こさない環境を作ること、感



感染管理室ミーティング

染を起こさない技術を持つこと、また、感染（世間でのインフルエンザや感染性胃腸炎の流行なども含む）が発生した場合、すぐに適した対策を取ること、被害を最小限にすること、原因や状況を分析し再発を防ぐことが重要となってきます。さらに保健所をはじめとする近隣病院との連携・情報共有も積極的に行い、当院が安心と安全な良質な医療の提供ができる病院であるよう、活動していきたいと思っております。

たか く み ほ

感染管理認定看護師 高久 美穂

私は、昨年4月に他病院より昭和大学江東豊洲病院に入職いたしました。現在はICUに所属し、部署内の感染対策システム作りや教育を主に活動しています。ICUに入室される患者さんは、手術後や緊急入院など集中治療を必要とする方々で、感染症を起こす危険が高い状況にあります。そのため、一層の対策が必要となる環境下ですが、患者さんが感染することなく回復し一般病棟へ転棟していく姿は本当に嬉しく思うとともに、スタッフ一人ひとりの行動が感染防止に繋がっていると感じます。



昨年度は看護師の個人防護具適正使用に取り組みました。個人防護具適正使用とは、血液や体液などに曝露される可能性がある場合に、あらかじめ手袋・エプロン・マスク・ゴーグルを着用し、患者さんはもちろん、自分自身を感染の危険から守る行為です。緊急処置に追われると着用がおろそかになりやすいのですが、着用の必要性や着脱の順番をスタッフ全員で再学習したことで、適正使用の定着を図ることができました。

感染対策はひとつひとつの医療行為に確実に実施されなければなりません。これからは現場スタッフが効率的・効果的に、そして継続的に実践できる感染対策を提案していきたいと思っておりますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

院内コンサートを開催しました。

昭和大学江東豊洲病院は、患者さんや地域の方々との交流を図るために『院内コンサート』を定期的で開催しており、8月29日（土）15時から、1階ロビーでコンサートが行われました。

今回のコンサートは学生時代からのご友人だった岩本津和さんと島田敏恵さんらが始めたボランティアコンサートグループ（ムジカフロール）により行われました。

当日の朝はあいにくの雨でしたが、午後からは雨もやみ、患者さんや、近隣の方々80名ほどの聴衆の中、詩の朗読とピアノ演奏・歌の披露を



していただきました。

島田さんの司会と曲と曲の間に詩の朗読、岩本さんからのピアノの演奏と歌は「この広い野原いっぱい」「美女と野獣」「見上げてごらん夜の星を」「Time To Say Goodbye」「翼をください」と皆さんもご存じの曲を披露していただきました。

ムジカフロールの皆さん素晴らしいコンサートありがとうございました。



院内コンサートに出演しませんか！

ロビーのグランドピアノでコンサートをいただける方を募集しています。ピアノを使用せず、ご自身でお持ちの管弦楽器等による演奏も大歓迎です。

詳細は当院管理課ボランティア担当（03-6204-6302）までご連絡下さい。

★日程：原則、土曜日午後3時～1時間程度

☆会場：昭和大学江東豊洲病院外来タリーズ前

☆備考：会場の使用料は無料です。



は せ が わ ま こ と

編集後記 長谷川 真

もう少し、残暑が続きそうですが、じきに、爽やかな秋風を感じる事ができるはず。行楽の季節到来です。食べ物もおいしく、食べ過ぎには要注意です。運動をしなければと思いますが、たまに、水泳、テニス、スキーをする程度で、定期的に運動はしていません。散歩は苦にならず、歩くと気分転換になり、好きです。運動量ははしっていますが、休日は散歩を楽しんでいます。



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲5-1-38

TEL03-6204-6000（代表）

発行責任者：新井一成 編集責任者：長谷川真



Showa University Koto Toyosu Hospital